

小学校統廃合

川又 貞男 議員

問 教育に人数は関係ない。小規模校を理由に学校統廃合を進めることには賛成できない。白山西小通学区内からほかの小学校へ通っている学年ごとの人数を伺う。

教育部長 11月21日現在、1年生7人。2年生9人。3年生8人。4年生5人。5年生2人。6年生はなく、計31人。

問 申請があれば許可しているのか。

学務給食課長 申請前に理由について相談があるので、申請として上がるものは、ほとんど許可になっている。

問 例えば白山西小が廃校になった場合、自分の通学区ではない学校に行きたいと申請すれば通るのか。

答 学校選択制ということではないので、ただ行きたいだけでは認められない。申請に正当な理由があれば認めている。

問 学校の耐震化について、廃校予定の学校だからしないと思っている人が多いが、その点はどうなのか。

教育部長 かなり多くの学校の耐震化を進める上で、耐震化計画を作成し、順位付けをしている。その中で優先順位は高くない。

ウエルネスプラザ 建設計画

鈴木 潔 議員

問 パブリックコメントは賛否を問うものではないということだが、市民団体への説明会の中で、民主主義を否定するものではないかと厳しい批判があったが、政策推進部長 国、県などの制度を見ても、賛否を問うものではないと思う。パブリックコメントの考え方を理解していただきたい。

問 説明会で交付税措置と交付税額は一致しないことを認めた。総事業費12億円のプラザ建設の市の負担は7千万円と説明した財政計画は誤りではないか。

財政部長 一般財源が7千万円ということは間違いはない。合併特例債の元利償還金の70%が交付税の基準財政需要額に算入される。

問 税金が豊かになり交付税が来ない場合、税収で借金を払うということか。

答 市税等の一般財源で元利償還は払い、交付税措置はないことも考えられる。

問 合併算定から一本算定になる交付税額は、平成26年度から5年間段階的に減少し、さらに激減することは制度上も明らか。市負担の7千万円が、今後大幅に膨らむことは明らかでは

答 今後5年間で交付税が減額されるが、合併特例債で借り入れた起債の70%は基準財政需要額に間違いなく算入される。

生活環境の改善

遠山 智恵子 議員

問 藤代小学校のトイレは臭いがひどく、男子の便器はあふれてしまい衛生上からもひどい状態と聞く。改修が図られるということだが、具体的な内容は。

教育部長 ことし予定しているのは、トイレのはがれ、水の詰まり、天井の壁などの改修を考えている。

問 学校からも何年も前から改善を求めていたはず。改善箇所は既に把握していると思うが、その対応は。

答 緊急のものは予算の中で即時対応している。抜本的なものは大規模改修等に対応することになる。トイレの修繕計画は、実情を調査し、単独でできるように組み立てていきたい。

問 宮和田小学校体育館屋根のさびがひどい。一刻も早く改修に取り掛かるべき。教育部長 改修が必要なのは認識している。耐震化を優先的に行いたい。修繕・改修も検討したい。

問 市道0130号線(新川)について。双葉の街中

での交通事故後、道路改良が優先となった。工事も終わり、次は歩道設置に取り組んでほしい。

建設部長 順次、整備はしていく。



市道0130号線(新川)

見えてこない…
まちづくり

飯島 悠介 議員

問 市長は、ウエルネス・タウンは地域力を上げ、取手を明るく元気にする一つの手段と話した。しかし、昨年1月公表の市民アンケートでは、「市民参加の推進と協働体制の構築」、「計画的で効率的な行政運営の推進」で満足の回答がともに10%未満。こういった市民の声をくみ取り、今後のまちづくりを行うことが大事。この結果を受けて、どのようなまちづくりを行うのか。

市長 全国で20市に入るぐらいの歳出削減を行ったが理解されていない。反省し、伝える努力をしたい。

まちづくりについては、取手らしさを取り戻す意味で、素晴らしい点をPRし、特色を多方面に打ち出していくことが大事だと思う。

問 事業の推進体制について、どういうまちづくりを行うのか見えてこない。説明の部分を意識して実行してほしい。基本構想にウエルネス・タウン構想が盛り込まれるのがきれいな形だが、状況の変化もあり取り組めない話だった。では、市民・議員を含め新しく作ることは考えないか。

答 環境の激変をしっかりと読み込むことと、新しい計画を作る時に、匿名ではなく、汗をかいてくれる人、コーディネート能力に長けた人が大事。

改修を！ 藤代スポーツセンター

わたなべ
渡部 日出雄 議員

問 藤代スポーツセンター体育館について、場内放送の改善要望があり、確認したところ、音が出てから消えるまでの時間が長く、極めて悪い。カバーのないコンクリートの壁が一番の原因と思うが、改善の考えはあるか。

教育部長 抜本的改修の前に、壁に吸音ボード等を設置する対策を考えている。音響は、22年に機器を更新したが、場所により聞きづらい所が残っているのは事実。抜本的改修の想定はしているが、教育委員会では、学校耐震化を進めている中で、学校以外の施設の改修もかんがみながら進めたい。

問 藤代スポーツセンター体育館の利用者1人当たりのコストが大きい。グリーンスポーツセンターは、使用料と別に冷暖房利用料を徴収している。体育館は、建設からまだ22年なので、改修したほうがよい。その際には利用者負担も必要かと思うが、考えは。

答 改修は少しずつ進めればと考える。空調機を設置した場合は、利用者負担になると思っている。



藤代スポーツセンター体育館